



デザ研に新たな芽 —新4年生メンバー7名来る—

text_fujii

都市工学科・都市計画コース4年生の卒論研究室が決まりました。新しく都市デザイン研究室に配属になった4年生は7名。5月26日には第一回目の卒論会議が行われました。自分の興味を深め、今までの知識や経験を総動員して研究・設計に取り組んでいくことに、期待と不安が入り交じっている様子。

新4年生 Q&A

1. 出身
2. 趣味・特技
3. 好きなまち / 行ってみたい場所とその理由
4. 座右の銘・モットー
5. 都市工・デザ研を選んだきっかけ
6. 卒論に向けた意気込み

石橋 康大

1. 千葉県
2. スポーツ、ドライブ
3. サンフランシスコ:のんびりでできそうだし遊べそう
4. 鶏口となるも牛後となるなかれ
5. 自分の考えが具体的な形になるから
6. 自分なりに満足いくものを作りたいです

卒論会議後、20時から後楽園のバーで、4年生歓迎会が行われました。

4年生は各テーブルに散らばり緊張しながらも自己紹介。先生や院生から様々な質問も飛び交い、4年生を中心に場が盛り上がっていきました。くだけた話から研究の内容や都市についてなど会話は尽きず、4年生も徐々にうちとけ、あっという間に予約していた時刻を過ぎていました。

この毎年恒例の歓迎会が、4年生、院生そして先生のという枠組みをこえて切磋琢磨し合える研究室をつくり上げる一つの要素となっている気がします。

4年生は、これから論文や設計という一つの集大成を卒論会議を重ねながら完成させていきます。

大熊 瑞樹

1. 大田区
2. テニスゲーム
3. 渋谷:友達と過ごすのも一人で過ごすにも楽しめる場所があちこちにあるので
4. 明るく楽しく最善を尽くす
5. 助教やTAの方の知識や明るい雰囲気にかかれたので
6. 何でも楽しくできるのが良いところ。誰よりも楽しんでよいものをつくりたい

熊谷 俊一

1. 東京生まれ、さいたま育ち(2歳から)
2. 趣味:サッカー観戦(Jリーグ)、ファミレスでの中学生観戦
3. ジブラルタル:なんというか…端っこが好き
4. YOU:もちろんジャンニーさんから頂きました
5. ほっといてもらえと思ったから
6. 体調崩さない程度にがんばります。みなさんよかったですら愚痴でも聞いてあげてください(笑)

鈴木 亮平

1. 東京
2. サッカー、映画鑑賞、散歩
3. 目白:地元愛 恵比寿:おしゃれ
- 4.
5. 運命に導かれて
6. enjoy!

渡嘉敷 美乃

1. 沖縄
2. 読書、ピラティス
3. 本郷周辺
4. マイペース
5. 卒業設計やってみたくてあとちーちゃんが好きだからです
6. 大学生活最後なので楽しみたいです。そして、今年は卒業します。

永野 真義

1. 大阪
2. ビーチバレー
3. 札幌
4. 特になし
5. 形になるものをつくりたかったから
6. なんか変わったものをつくれたらいいなと思います。

山下 航司

1. 千葉県
2. 読書
3. ベネチア、パリ
4. 失敗は成功のもと
5. デザインに興味があったから
6. 悔いのないよう計画的に頑張りたいです。

上:西村先生と四年生の
コラボレーション左:元気な4年生に期待
(奥から永野君、大熊
君、熊谷君、鈴木君)

2008年度第3回研究室会議

text_fujii



5月26日、今年度3回目となる研究室会議が行われました。M2、D3の各一名が発表を行いました。また、研究室会議の最後には、隔年に実施される研究室旅行の旅行先(マレーシア)と日程(10/25~29)の報告が西村先生からありました。楽しみです。

今会議の発表者と題目は以下の通りです。

- M2 矢原有理『動的な地区保全手法に関する研究 —東京都新宿区神楽坂地区を対象として—』
- D3 永瀬節治『近代における参詣空間の計画・形成に関する研究』

窪田准教授を祝う会が盛大に行われました

M1 土信田 浩之



6月6日に西村先生、北澤先生をはじめ研究室のOBOGの方々が多数集まり「窪田亜矢さん東大准教授就任を祝う会」が行われました。会は終止なごやかなムードで進行し、OBOGからのコメントでは、普段知り得ない学生時代の窪田先生のエピソードや様子などを聞くことができました。そのコメントの殆どが「パワフル」、「元気」というものであり、学生時代からの変わらない窪田先生の姿勢を垣間見ることができました。



上:本郷キャンパスの担い手として窪田先生に期待を寄せる西村先生
左:歴代都市デザイン研究室メンバー勢揃い

北沢教授、『たねまる』と握手 —第1回 Future Café—

M2 山田 渚

発足から2ヶ月、UDCYにおけるクロスセッション事業のひとつとして、「Future Cafe」が開催されました。初回のテーマは「水のダイナミズムと都市」。

水源地の環境保全が川、海そして人の生活にいかんして影響を及ぼすのかについて、横浜に水を供給する山梨県道志村の村長などをゲストに迎え、各テーマ(山村デザイン、農村デザイン、インナーハーバーデザイン、循環デザイン)に分かれて熱い議論を交わしました。TVKとのコラボレーション企画である本イベントは、会場となったTVK NEWSハーバー内をテレビ中継風にカメラが巡回し、議論の様子が随時巨大なプロジェクターに映し出されながら進められたほか、その様子が即日TVKニュースで放送されるなど、メディア実験の場としても意味のあるものとなりました。

また、当日は横浜開港150周年記念マスコットである『たねまる』も応援に駆けつけ、会場を和ませるなど、終始和気あいあいとしたムードでした。本企画は今後も毎月1回のペースで続けていきます。



▲上の写真の中に蛸灰谷さんが写っています。さてどこでしょう??
ヒント:蛸灰谷さん、お疲れさまでした。

走った!京浜臨海工業地帯 —京浜巡りの旅—

text_nakashima

京浜巡りに行ってきました。野原先生の運転のもと朝11時に桜木町を出発し、横浜市中央卸売市場から始まった見学会ですが、旧造船所を再開発したコットンハーバー、近年増えてきている研究機関、昭和電工や日産自動車の大規模な工場、巨大な流通施設などを見学したほか、フォークリフトの縦横無尽に行き交う出田町埠頭への果敢な侵入、車の中で「大黒ふ頭で〜」と歌い出すK君など、ハプニングも目白押しでした。

しかしやはり最も印象深かった風景は鶴見線終着駅の特異な風景でした。電車待ちの東芝社員でいっぱいプラトホーム、そのすぐ後ろに見えるのはようやく波打つ東京湾と対岸の巨大な倉庫群。日常的風景と、テクノロジーと自然物の生み出す風景の対比が面白かったのかもしれない。

野原先生、運転お疲れ様でした。



田村P 2008年度第2回現地調査

text_kikuchibara

5月27~30日にかけて、田村プロジェクトの第2回現地調査が行われた。今回の訪問目的は、大学と行政との今年度の事業方針についての打ち合わせと、田村市船引町の郊外地区と船引町中心部の関係性の変化を把握するというものであった。都市の縮退のプロセス把握と縮小時代のまちづくりのモデルを構築すべく、今回の調査では、周辺地区の空間構成の変化やヒアリング調査、また中心地区の商店が行っている周辺地区への宅配・送迎サービス等の実態のアンケート調査を実施した。



編集後記

入学式から早2ヶ月。ゴールデンウィークもいつの間にか過ぎ去り、都市デザイン研究室の伝統?である都市デザインマガジンを深夜3時に書く。プロジェクト高山、横浜と着実に進行。論文も…。計画的に時間を使えるようにしたいと思う今日この頃です。

text_fujii

都市デザイン研究室 6月下旬の予定

- | | |
|----------|------------------|
| 6月19日 | 第4回研究室会議 |
| 6月24日 | マレーシア工科大学meeting |
| 6月26日 | 第5回研究室会議 |
| 6月28-30日 | 高山現地調査 |